

MEDIA RELEASE

2015 年の国内転職市場のキーワードは「ハードワーク」よりも「スマートワーク」

【2015 年 1 月 15 日】外資系人材紹介会社ヘイズ・スペシャリスト・リクルートメント・ジャパン株式会社（本社：港区、リージョナル・ディレクター・ジョナサン・サンブソン、以下ヘイズ・ジャパン）は本日、2015 年 1 月～3 月期の採用動向レポートを発表しました。この中でヘイズ・ジャパンは、今年日本の転職市場では、時間やコストの無駄がどこにあるのかを究明し、それに対する改善策を提示して所属する部門や部署の業績向上に貢献できる高度なスキルを持った人材の需要が顕著に高まるものと予測しています。

最新のレポートによると、企業各社は利益水準を維持する一方で、引き続きコスト削減の努力を進めようとしており、業務プロセスやコストの効率化を効果的に実践できる人材が強く求められています。

ヘイズのアジア担当オペレーション・ディレクター、クリスティーン・ライトは次のように述べています。

「企業の採用意欲は衰えておらず、今年 1 年も積極的な採用が続く見通しです。採用企業との会話の中で明確になっていることは、企業が現在最も必要としているのは、『ハードワーク』ができる人材ではなく会社のために『スマート』に仕事ができる人材だということです。

現在、企業のあらゆる部門で業績の分析やチェック、プロセスの改善を行い、コスト削減と効率化の推進が図れる人材が求められています。

経理・財務分野におけるジュニアレベルの FP&A（財務計画&分析）スタッフから、IT 分野におけるモバイルアプリ開発者、セールスマーケティング分野におけるマーケットリサーチャーまで、今年の転職市場では既存の業務手法を改善しながらコスト削減を図れる人材に焦点が当たることになると予想されます。」

当期中に採用ニーズが高まると予想されるのは下記の専門分野です。

- **経理・財務:**さまざまな業界を通じて新規採用と欠員補充の両方が堅調に推移しており、ジュニアレベルの FP&A（財務計画&分析）スタッフの需要が特に高まっています。
- **金融:**コンプライアンスの領域では、エクイティコンプライアンススペシャリストが依然として非常に強く求められており、この需要はしばらく衰える兆しは見えません。グローバル市場を対象とする監査業務の求人も増加傾向にあります。
- **ファイナステクノロジー:**今年中にネットワークやサーバー、ストレージ等、社内のコア基盤のアップグレードを予定している企業が見られることから、インフラストラクチャ関連のプロジェクト/プログラムマネージャーの需要が高まるものと予想されます。
- **人事:**企業内の各部門のリーダーに対し社内 HR コンサルタントの役割が務められる能力を持った HR ビジネスパートナーが引き続き求められており、それぞれのビジネスの成長に寄与できる人事関連のイニシアチブについて助言が与えられる人材が求められます。

- **IT:**新規アプリケーション開発はクローズドシステムから Web へと移行しており、ASP、Java、Ruby 等 Web ベースのフレームワークに関して優れたスキルを持ったモバイルアプリ開発者の需要が高まることが予想されます。
- **保険:**損保各社ではジュニアレベルから中堅レベルの交渉力に優れた損害調査担当者に対する堅調な需要が続いているものの、業界内での M&A の動きが進んだことによって経験の浅いエントリーレベルの候補者に対する需要も見られるようになってきました。
- **法務:**多数の企業が日本国内の拠点の拡張や合併、オフィスの新設を行っており、新しい雇用機会が創出されつつあります。人材が不足しているため、企業は採用プロセスを迅速化し、短期間で採用を決定する傾向にあります。
- **ライフサイエンス:**ライフサイエンス業界では新規採用が積極的に行われており、そのほとんどが正社員として雇用されています。医薬品安全性関連の業務は多くの人員が必要なため、CRO（医薬品開発業務受託機関）と製薬会社の両方で常時、安全スタッフの採用が行われています。
- **製造・オペレーション:**国内自動車メーカーが研究開発投資を強化しており、アプリケーションエンジニア、テストエンジニア、品質保証エンジニアはいずれも需要が高くなっています。
- **セールスマーケティング:**現在、あらゆる企業がビッグデータの活用に取り組んでおり、各社とも顧客に関する新たな洞察を迅速に獲得し、中長期的な利益の拡大推進に役立てることのできるマーケットリサーチを求めています。
- **オフィスプロフェッショナル:**製造業や IT 業界を中心に、顧客サービス担当者の新規採用や欠員の補充が増加しており、需要は引き続き高くなっています。
- **不動産関連:**海外から日本の不動産市場への投資が続いていることで、不動産市場は堅調な拡大を続けています。中核資産の拡大を目指すファンドにとって日本は依然として安全な投資先として注目されており、投資マネージャーやアセット・マネージャーの需要を生み出しています。

ヘイズ・ジャパンは、毎年 4 回（4 月、7 月、10 月、1 月）採用動向をレポートにまとめて発表しています。レポート全文はヘイズ・ジャパンのウェブサイト www.hays.co.jp/report/ からご確認いただけます。

ヘイズ・グループは、専門性の高いプロフェッショナルを対象に人材紹介サービスを提供しているリクルートメントのグローバル・エキスパートです。

以上

ヘイズ・グループについて

ヘイズ・グループは、グローバルな人材サービスを提供するスペシャリストの人材紹介会社です。2014 年 6 月 30 日現在、世界 33 カ国*、237 の拠点、20 のエキスパート分野において、8,000 人超の従業員が経験とスキルを備えた人材サービスをグローバルに提供しています。

ヘイズ・スペシャリスト・リクルートメント・ジャパン株式会社について

ヘイズ・スペシャリスト・リクルートメント・ジャパン株式会社は、ヘイズ・グループの日本法人として 2001 年に東京で設立されました。同社は日本で唯一、日本本社、新宿支店、大阪支店、そして 7 月 1 日に開設した横浜支店の 4 つの国内拠点を有する外資系人材紹介会社です。「経理・財務」、「金融」、「ファイナステクノロジー」、「人事」、「ヘイズ・タレント・ソリューション」、「IT」、「保険」、「法務」、「ライフサイエンス」、「オフィスプロフェッショナル」、「不動産関連」、「セールス&マーケティング」、「サプライチェーン」の 13 の専門分野に精通したコンサルタントが豊富な知識と経験をもとに、正社員から契約・派遣社員まで、企業の人材採用や個人のキャリアアップを支援しています。

*日本、オーストラリア、オーストリア、ベルギー、ブラジル、カナダ、チリ、コロンビア、中国、チェコ共和国、デンマーク、フランス、ドイツ、香港、ハンガリー、インド、アイルランド、イタリア、ルクセンブルグ、マレーシア、メキシコ、オランダ、ニュージーランド、ポーランド、ポルトガル、ロシア、シンガポール、スペイン、スウェーデン、スイス、アラブ首長国連邦、イギリス、アメリカ

報道関係者からのお問合せ：

ヘイズ・スペシャリスト・リクルートメント・ジャパン株式会社

広報担当 森下真千子 03 3560 1529/ 090 4666 4166 machiko.morishita@hays.co.jp